



浜田屋本店の瓦版 第2号

㈱浜田屋本店 TEL:0799-28-0330 FAX:0799-28-1556

2017年 3月発行

～ 大切な方にお送りする情報誌 ～

◆淡路島に天然記念物があるんです！◆

まいど！ 浜田屋本店の濱田です。

淡路島の洲本市にある海水浴場（大浜海岸）から洲本城（三熊山）への登山道が、ハイキングコースとして人気になっています。

市街地の近くで手つかずの自然が残っている例は全国でも珍しいことですが、それは三熊山が国立公園に指定されていて、バブル期の土地の乱開発を免れたおかげです。

そんな山手の森、三熊山には、縄文時代からの古代のセミ「ヒメハルゼミ」が生息しています。以前、「ヒメハルゼミの声を聞く会」ができて、100人ほどの見学会が催され、地元有志と「日本セミの学会」の人たちが「抜け殻」をさがしたことがあったのですが、偶然にも見つかり大変盛り上がりました。もちろん私も一緒に参加していました。

山頂にある洲本城は石垣のすばらしさが有名で、1999年（平成11年）に国の史跡に指定されています。最近改修されてお城マニア、石垣マニアにとっても人気があるそうです。

自然の石を積み上げる「穴太積み（あのうづみ）」で、彦根城と並ぶ史跡です。約600年以上前の石垣が、ほぼ完全な状態で残っているのはスゴい事です。それを修復できる滋賀県・近江の「穴太衆」が現存していて、今回わざわざ改修のために淡路島に来てくれたそうです。

昨年11月6日に洲本城改修完成記念として、「ひょうご森のまつり」というイベントが行われ、マイ・ヨロイカブト着用の武者行列を石垣の前で行いました。知人が参加するというので見学にいきましたが、気分は侍でおおいに盛り上がりました。

又、洲本城の近くで1992年12月22日に、地元の植物学者・南光先生が「シロミノヤブムラサキ」という世界で唯一の植物を発見しました。英国の科学誌「ネイチャー」に掲載されたことで、世界中に知られました。普通のヤブムラサキとは違い若い枝が緑色で、花も実も白くなります（普通は紫色）。洲本市の天然記念物に指定されています。

淡路島に天然記念物があるなんて、地元の人も知らないかもしれませんね。

◆スタッフからの一言◆

1月(いく)、2月(にげる)、3月(さる)とはよく言ったもので、今年もあっという間に3月になりました。正月、成人式、節分、バレンタインデー、ひな祭りと終わって次はお花見かな？

最近はいースターとかハロウィンとか次々新しい行事も増えてきて、一年中何かで盛り上がってますよね。そろそろついていけなくなっている自分がいます。

(担当：中山)

【浜田屋本店の会社概要】

- ◆商号：浜田屋本店
- ◆設立：昭和41年1月5日（創業：明治35年）
- ◆所在地：兵庫県洲本市安乎町平安浦 1864-8
- ◆HP：<http://www.hamadaya-honten.jp/>
- ◆TEL：0799-28-0330 FAX：0799-28-1556

【社長のプロフィール】

- ◆濱田 昌宏（はまだ まさひろ）
- ◆誕生日：昭和34年3月30日
- ◆出身地：兵庫県洲本市（淡路島）
- ◆趣味：考古学、日本の超古代史研究
- ◆口ぐせ：さあ そこやがな

